

ご挨拶

関西潜水連盟名誉会長 村上 忠一



本日、関西潜水連盟創始40周年を迎え、ここに記念の催しを挙行されますことは、私達の深く喜びとするところであります。

思い起こしますと会長に推挙されて40年、いずれ適当な機会に後進に道を譲らなければと考え続けてまいりましたが、ボランティア的性格の濃い職なるが由に押し付ける訳にもまいらず、時期を失してまいりました処、幸いに思考を同じくする勝れた後継者を得て、ようやく会長を退く運びとなりました。長い間ご支援とご協力誠にありがとうございました。

顧みますと私は人生を全部、安全潜水に捧げ通して来たと自負しておりますが、設立当初は我が国で始めてスクーバという潜水器材の製造販売が始まった昭和36年（1961年）、ダイビングショップやクラブも殆んど無い時代に、メーカーの指導で潜水団体の潜水科学協会（後の関西潜水連盟）が活動いたしておりました。当時は創生期故に販売はメーカーが、啓蒙は団体やクラブが当てまいりました。当時は死亡事故が多かった為に保険会社は相手にして貰えず、やむなくクラブを作って会費を出しあい、器材の購入をはじめ、万一の場合に備えて搜索費用や慰謝料に当てると言う自己防衛と相互負助のための組織としての結成でした。従って潜水指導や安全講習が重点で器材の販売には関心が及びませんでした。このような下地で発足、踏襲して来た体質が禍して加盟するショップに対する販売のテクニック不足が今もって申し訳なく、心残りです。衷心よりお詫び申し上げます。

このような連盟を支える役員の方々は不足ひとつ言わず、潜水に誇りと喜びをもって、かつ情熱を傾けてやって下さっております。私は皆様のご苦勞に対し、深く尊敬の念を抱くと共にここに厚く、厚くお礼申し上げます。どうかこれからも新会長を中心として安全潜水について一層成果をおあげになりますよう心からお願い申し上げます。

会長を退くに当り、役員会員の皆様とご家族の皆様方のご健康とご多幸を心より祈念して、退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。